

第3分科会：

コミュニティ・スクールで創る
社会に開かれた教育課程

地域協創カリキュラムで 育てる「未来を創る力」

府中市立府中明郷学園

学校運営協議会 会長 立石克昭
校長 杉原満治

「地域の中に学校を
学校の中に地域を」

～本校CSスローガン～

地域協創カリキュラム ～地域を学ぶ 地域から学ぶ～



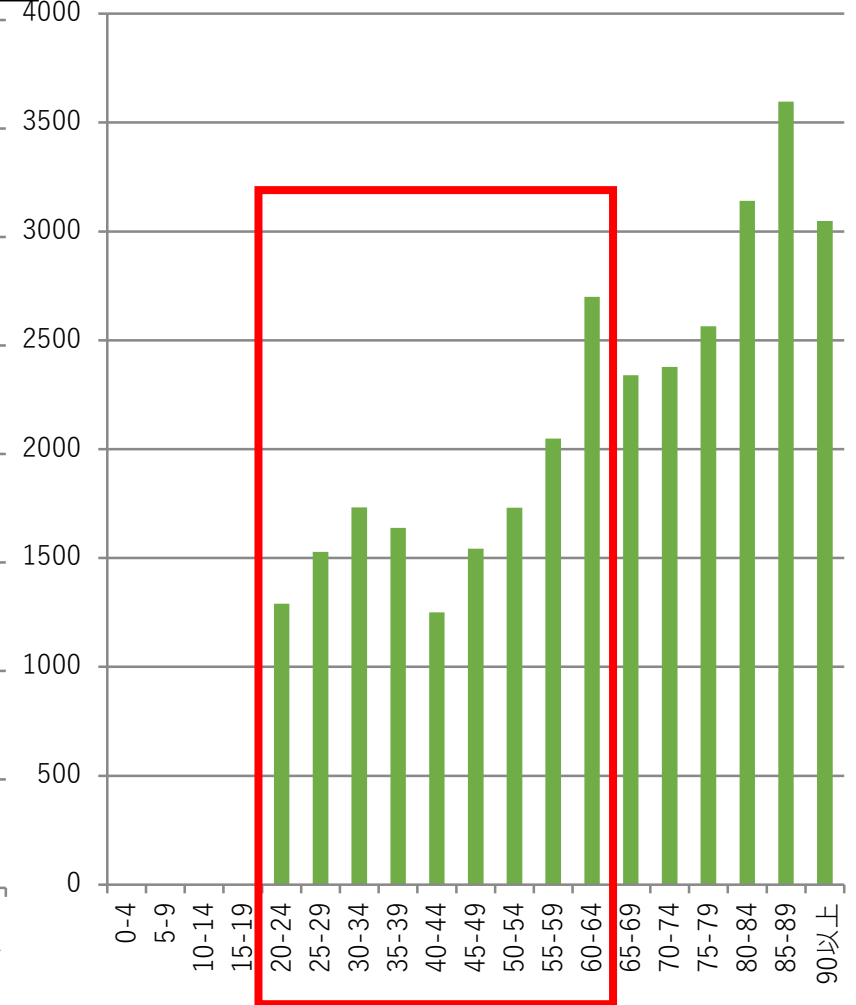
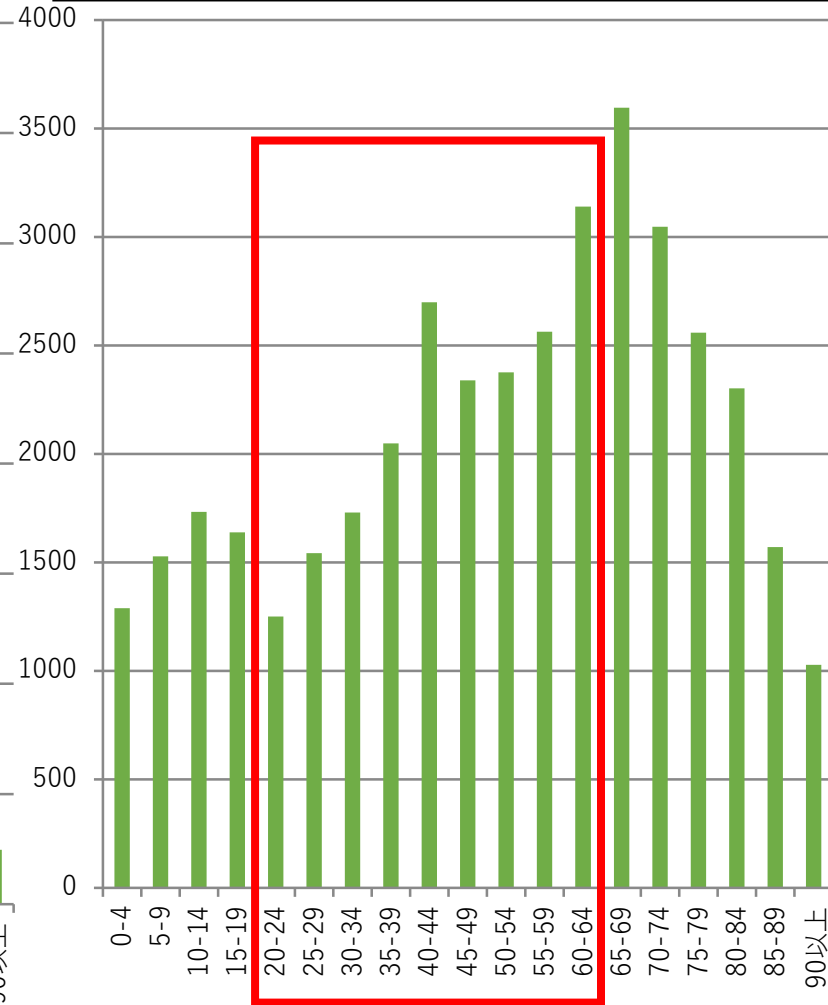
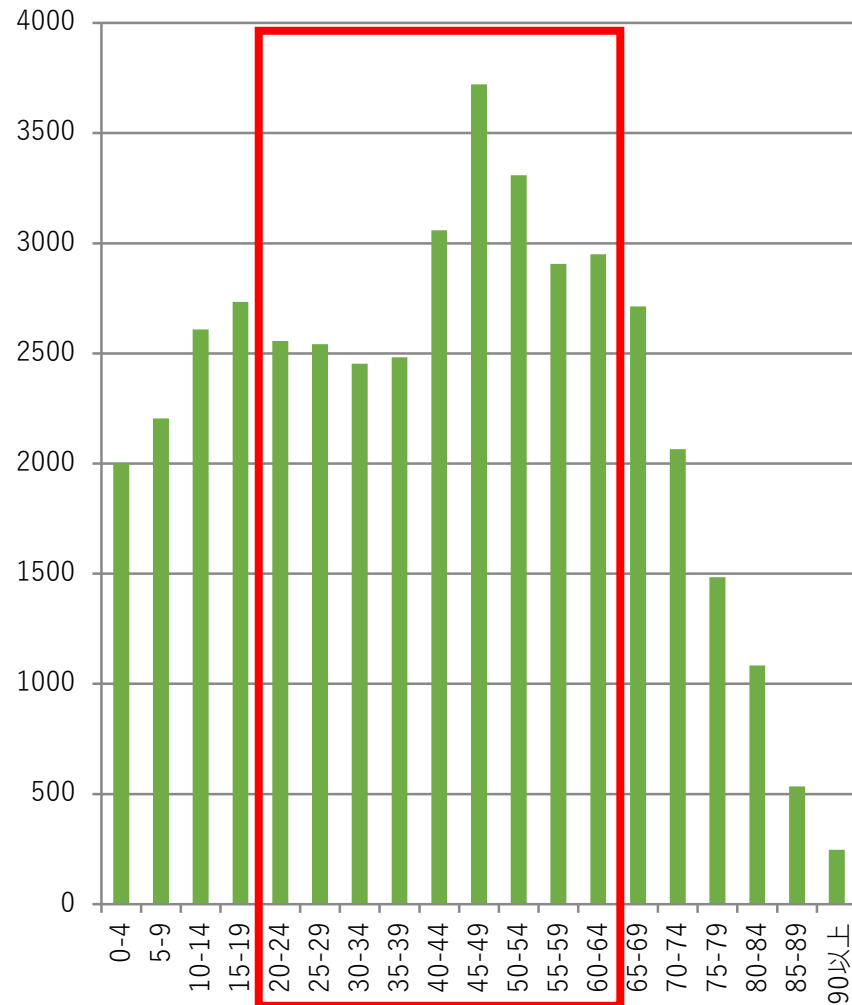
起業家マインド「未来を創る力」
郷土愛を育み、**地元**に根付いた人材
自己実現に必要な**資質・能力**

府中市における労働人口の推移

1995年：25981人／43659人

2015年：22578人／42542人

2035年：15463人／32529人



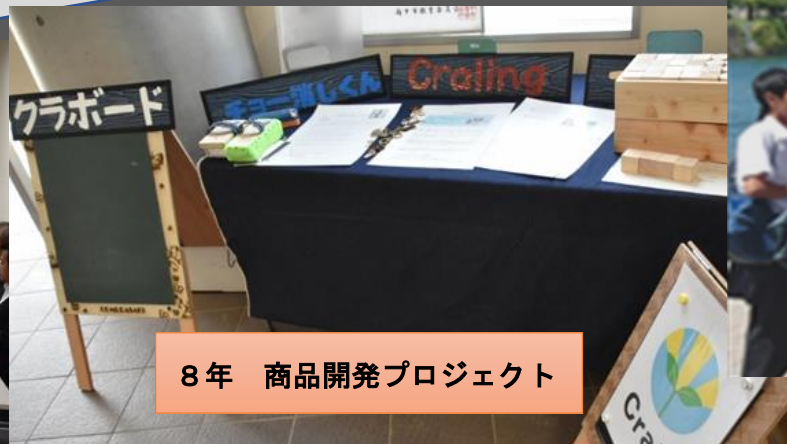
16年後には、20歳～65歳の労働人口が平成27年の 3分の2 に減少する。



6年 地域開発プロジェクト



7年 職場体験プロジェクト



8年 商品開発プロジェクト



9年 未来プロジェクト

「ものづくり」「まちづくり」
「ひとづくり」の実現



5年 ワーキングプロジェクト



4年 怒の心プロジェクト



3年 地域発見プロジェクト



1, 2年 生活科プロジェクト



地域から学ぶ

- ・ 伝統の和紙づくり
- ・ 米づくり（田植えから収穫まで） など

平成31年度「学校運営協議会と地域協働本部の設置・拡充に向けた調査研究事業」(文部科学省)

府中明郷学園学校運営協議会基本理念「地域の中に学校を！学校の中に地域を！」の下、「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、義務教育学校における学校運営協議会の在り方について調査・研究を行う。(2年次)

社会に開かれた教育課程の実現

自ら課題を見つけ、学び、
行動する児童生徒の育成

地域連携推進に
向けた
研究協議会

- ・ 学識経験者
- ・ 学校運営協議会代表
- ・ 地元企業経営者
- ・ 商工会議所
- ・ 学校
- ・ 府中市教育委員会

- 学校運営協議会の在り方についての調査・研究
- 各組織の役割を明確化
- 本年度の取組の検証と次年度の取組の方向性



9年間を見通したカリキュラム

地域協創
カリキュラム

グローバル
コミュニケーション
カリキュラム

地域に開かれた
教育課程
検討委員会

- ・ 学校運営協議会委員
- ・ 府中市教育委員会
- ・ 地元企業経営者

- 生涯を通じて学び、活躍できる環境整備
- 社会の担い手となるための学びのセーフティネットの構築
- 地域の力を使った商品開発による起業家精神の育成




地域教材の開発

地域企業との連携

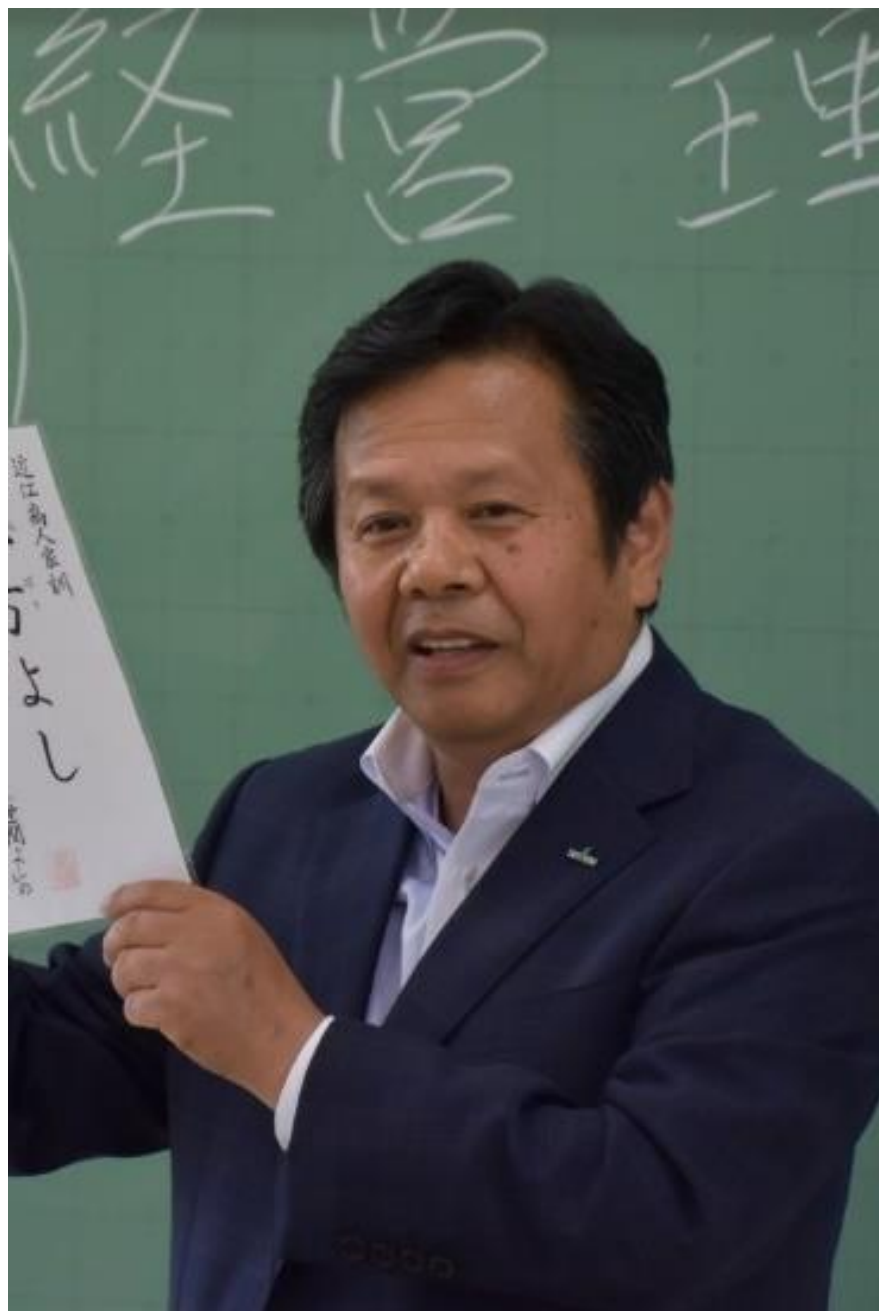
ゲスト
ティーチャー

府中明郷学園学校運営協議会



地域に開かれた 教育課程検討委員会

- 学校運営協議会委員
- 府中市教育委員会
- 地元企業経営者
- 教職員



模擬会社の取組

(7・8年生)

会社名 Crale (クラル)

「クラフト」「スマイル」「暮らし」



会社設立式

社長以下会社幹部が経営理念等を説明





キャリア・スタート・ ウィーク（CSW）

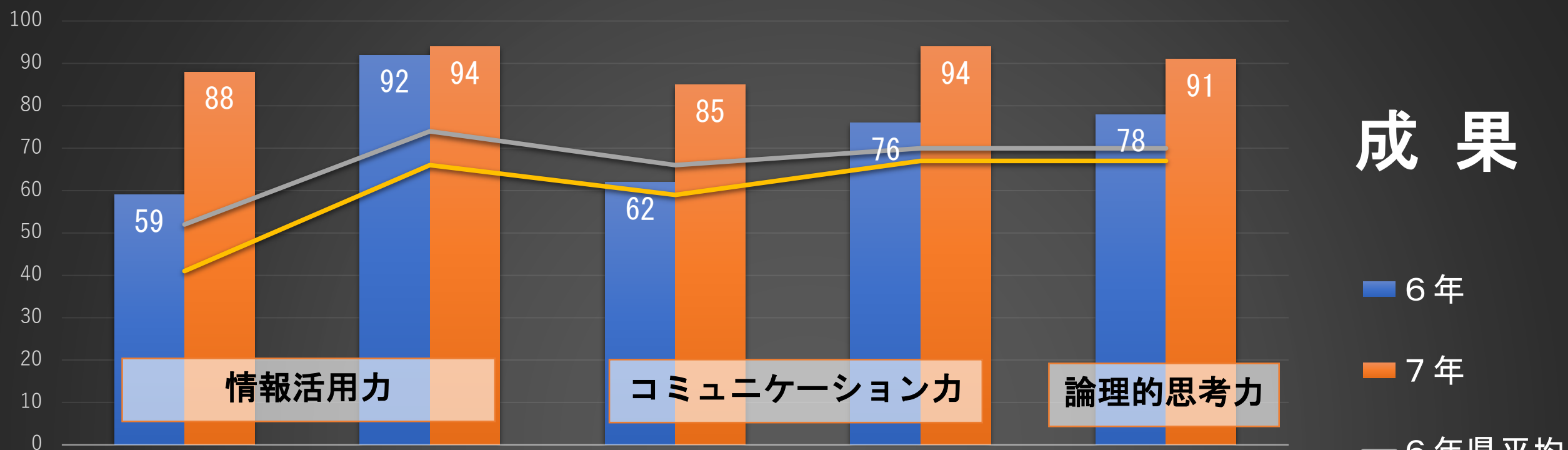
就労体験のみでなく、地域の企業・事業所の
技術力やマーケティングなどを取材



地域の企業家の支援

商品開発やプレゼン，マーケティングなどに，
地域の企業の皆さんからの助言

成果



■ 6年

■ 7年

— 6年県平均

— 7年県平均

課題を解決するために、進んで、資料を集めたり取材をしたりしています。

情報を、比べたり（比較）、仲間分けしたり（分類）、関係を見付けたり（関係付け）して、何が分かるのかを考えています。

自分の考えを積極的に伝えていきます。

自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝えるように発表を工夫しています。

「どこまで分かったか」、「学習の方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由」を考えています。



地域行事への 参加から参画へ

- 地域行事へ参加していた
- 大人と子供たちで熟議 ⇒ 子供たちが企画し、参画



ご清聴ありがとうございました